

発行 市民ネットワーク  
編集 市民ネットワークみはま  
Tel・Fax 278-5005  
〒261-0004  
千葉市美浜区高洲1-24-2 3F  
mihama@chibanet.jp  
http://www.chibanet.jp/mihama/

# まちづくり通信No.79 市民ネットワーク



市議会議員  
湯浅美和子

## 議会からの報告

区役所のサポートの重要性  
行政側からの情報提供の仕組みは一歩前進しませんが、大事なものは受け皿となる地域の防災組織の活動の充実です。協定や守秘義務などの縛りが、地域の活動にブレーキをかけることのないよう、いかに地域をサポートしていくかが、これからの行政の役割。区役所にこそ地域の人たちをコーディネートする力のある職員の配置が必要です。

◆ただし、きちんと知らせなければ、意味がない  
当事者や家族がこの条例の趣旨を知らなければ、手もあげられず拒否もできません。また、精神障がいや知的障がいの方は、軽度でも災害時に特別の配慮が必要になる場合がありますが、名簿の対象ではありません。原発被災地では事故後、軽度の精神障がい者や知的障がい者の所在を把握できず、置き去りになっていたという実例があります。  
必要な方にきちんと情報が届き、必要ならば積極的に手を上げてもらえるような周知が大切です。



避難行動要支援者の範囲	
(1) 65歳以上の一人暮らしの高齢者で要介護1~2、要支援1~2の認定者	
(2) 要介護3以上の要介護認定者	
(3) 障がい者	
ア 重度の身体障害者手帳所持者	
イ 精神障害者保健福祉手帳1級所持者	
ウ 最重度・重度の療育手帳所持者	
(4) 難病患者	
(5) 希望者で特に支援が必要と認められた者	
提供先	
(1) 実施機関等	消防局、ちば消防共同指令センター、民生委員 高齢福祉課、防災対策課、各区役所
(2) その他	千葉県警察、千葉市社会福祉協議会、 自主防災組織、町内自治会、マンション管理組合

## 災害時の防災対策に活かせるか?! 「千葉市避難行動要支援者名簿に関する条例」の制定

これまでの災害時要援護者名簿で、市から自主防災組織や自治会に提供されていたのは、対象者の中で同意を得られた方のみ。これでは地域への名簿提供が進まず、平常時から対応ができないことが大きな課題でした。  
今回の条例では、対象者のうち高齢者の範囲を見直し、また本人の拒否の意思表示がない限り、自主防災組織や自治会等へ、避難行動要支援者名簿を提供できることとなります(本年秋ごろより)。また、対象要件に該当しなくても支援が必要な方は、申し出により追加されます。

個人情報保護のため、自治会等は市と協定を結び守秘義務が課せられますが、この名簿により、災害が起きた時一人で避難できない方たちの防災対策を、地域でも平常時から考えることができるようになります。

## 市民ネットワークは特定秘密保護法に反対です

事務所に反対署名の用紙があります。ご協力下さい!

## もっと海を身近に!

ホントにそうなる!?

市長2期目の Manifesto の目玉の一つに「海辺の活用」があります。市民ネットワークみはま事務所では「美浜区の花辺をもっと身近なものにしたい」と、これまで調査や提案をしてきており、注目しているところ。

### 公園としての魅力はどう?

稲毛海浜公園内の検見川浜地区約3.2haの魅力を高めるため、公園内でレストラン等の施設を整備・運営する事業者が公募され、昨年末に事業予定者が決定しました。ウエディングやレストランの事業を手掛ける企業です。

ただし、事業者提案では、予定区域

のうち企業が手がけるのは約1/3の部分。その中にレストラン・カフェ、音楽イベントホールや多目的ホール、披露宴も可能な集会場などが建設されます。現在あるサイクルセンターは取り壊しますが、新たに計画するスポーツ関連施設は市が担うことが想定されています。

公園としての運営への提案かと思いきや、民間企業は経営的に成り立つところしか手をださない!その他の部分は結局公共が担うことに。

### 計画が「ちぐはぐ」!?

現在「海辺(稲毛~検見川~幕張)のグランドデザイン」の検討が進められています。千葉大が受託し、市民も参加

するワークショップなどを行い、どんな海辺がふさわしいか、という意見交換をしながら海辺の構想を作っていくもの。またこれとは別に海岸線の松林の中の散策路整備も2014年度から始まります。

・・・となると全体計画は一体どうなる?という疑問もわきます。せっかくの貴重な財産である「海辺」。あせらず多くの人たちの意見を入れながら整備を進めてほしいものです。



## 地域の課題

### 真砂

検見川の浜の干潟を、埋め立ててできた街も 40 年以上が経ちました。

暮らしやすい街のための課題は、いろいろ。長年要望の強い公民館の設置、美浜区若葉地区の開発に伴う真砂大橋と国道をつなぐ道路の問題などです。

3 年前の、震災の時の液状化の問題解決も急がれます。磯辺地区は、実証実験が始まるなど先行しているようです。真砂地区や、幕西地区は磯辺とは地盤構造が異なると

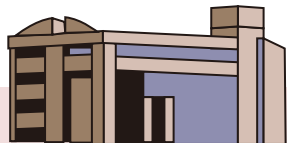
いわれています。千葉県は埋め立てを担った千葉県とともに、「また、揺れたら・・・」という不安を解消するためにも、情報公開をして解決に向けて話し合いを進めていくべきと思います。(真砂 田平)



### 幕張西

現在、少年野球場として使用している幕張西 6-1-1 の土地が、運動公園と住宅地になり、その住宅地を売り出すことについて、12 月 7 日に町内会に対して説明会が行われました。そして 1 月 5 日の町内会の回覧板によると、神田外語大学の学生寮に決まり、今後は事業主と話し合いの場を持つことになりました。

美浜区の端に位置する幕張西は、高層住宅が立ち人口が急増しているにも関わらず、公共施設は公民館が 1 館あるだけで、他には何も無いのが現状です。長年要望している交番もなく、またこれからますます高齢化が進むのに福祉施設もありません。公民館を 2 階建てにするとか、福祉関連の施設を望むところです。(幕張西 秋山)



### 区役所訪問

1 月 30 日 (木)、美浜区役所を訪問し、2011 年度スタートの地域活性化支援事業など、美浜区自主事業について伺いました。2013 年度の地域活性化支援事業は 11 団体。地域拠点支援コースは 1 団体が活動しているとの事です。

防災や多世代の交流・居場所づくりなど、それぞれが成果

## 11 月

### 政治カフェ

#### 「地域活動で心がけていること ～親子と触れ合い、感じる～」



地域で人形劇や読み聞かせなどを行っている片山直子さんにお話を伺いました。「コミュニケーションが苦手な親が増え、みんなと違うことに不安を感じたり、違う考え方を受け入れられないなど親側の問題も多い。異年齢で遊ぶ経験も少なく、遊びの変化もあり、人と関わる事が苦手な子どもが増えている。」

気軽に親子連れに声をかける、困っている事や悩みを引き出し、サポート出来そうな事を考えるなど片山さん自身が心がけているそうです。日頃私たちも近所のおじちゃん・おばちゃん的に親子連れや子ども達に積極的な声かけが必要だと感じました。(高浜 佐々木)

## 12 月

#### 「エンディングノートとお葬式」



ファイナンシャルプランナーの藤井智子さんに、エンディングノートを書く意味、内容などについてお話を伺いました。ノートを作りながら、これまでの自分の歴史を振り返り、これからの生活をじっくり考える時間にしたら良いのでは、という事でした。

最近のお葬式事情やお墓、相続などの話を聞き、いざという時に困らないように元気なうちに家族と検討しておくことも大事だと気付かされました。葬儀後の手続き(名義変更、相続手続き、年金、健康保険、税など)が一覧にしてあり、とても参考になりました。(高洲 古谷津)



を出しているようですが支援が終わる 3 年後に、自立できるかが課題です。安心カードの配布や見守り事業についても意見交換をしましたが、市民と行政の連携が大切だと思いました。(稲毛海岸 田中)

## インフォメーション

### 「認知症サポーター養成講座」

3 月 6 日 (木) 13:30 ~ 15:00

美浜保健福祉センター 4 階

大会議室

生活クラブ版美浜地域福祉計画

実行委員会主催

### 政治カフェ

#### 「若者のためのデートDV 予防講座」

NPO 法人 ウィメンズ・ウィングちば

3 月 15 日 (土) 15:30 ~ 17:00

市民ネットワーク みはま事務所

### 秘密保護法に反対する学習会

#### 「あなたにも関わる特定秘密保護法」

#### ～何が秘密かはヒ・ミ・ツ～

講師：海渡雄一さん (弁護士)

4 月 29 日 (火) 13:30 ~ 15:30

生涯学習センター大研修室

共催：市民ネットワークちば

市民ネットワーク千葉県